



浜松ハーモニーロータリークラブ週報

No.1035 2021.03.24 (水)

2020～21年度 RI 会長 ホルガー クナーク

RI2620 地区ガバナー 志田洪頭(静岡ロータリークラブ)

Hamamatsu
Harmony RC
Weekly
Bulletin

会長挨拶

山口勝義

桜の開花も福岡・東京では既に満開になっている箇所もあり、私の通勤路でもかなり開花してあってという間だと感じます。



昨年の今頃は、クラブも学校も催しも止まっしてしまい、良い記憶の薄い時期でした。一年が過ぎ、感染状況はあまり代わり映えしないといえなくもありません。我慢を余儀なくされている人たちもそれぞれある中で、緊急事態宣言解除について「反対」「賛成」「どちらともいえない」それぞれほぼ同率に分かれている状況下に、とられる行動も大きく分かれていると思われます。強制力の弱い行動制限よりも、この一年の経験で得られた情報や知恵を生かして、それぞれが都度、どれだけ適切に賢く節度を保って行動することができるかが重要であると感じます。ここまでの経験と知恵を活用してモアベター(1980年代の流行語)な対策が進められています。これによって、生活の不便さも様々な場面で改善され、安心感も増していますし、何より春の甲子園大会が開催されています。ラグビー・サッカー・プロ野球の国内試合や、その他のスポーツの国際競技も多く開催されています。そういうことでは確実に着実に進化し、前進はしています。一方でオリンピックは、海外からの観戦客の受け入れが見送られ、「残念だが正しい決断」「国民の80%近くが延期や中止を求めている、これで懸念が和らぐわけではない」と海外でも報道されているようです。そして、「パンデミックという現実に対する大きな譲歩だ」ともコメントされています。この「譲歩」はとても印象深く残る言葉です。私にとっても「譲歩」を学んだ一年だったといえます。学びなので、ネガティブな意味ではありません。「どこまで譲るか」で、度合いを選択できます。自分なりに熟慮し、選択してきました。無い知恵も絞りました。ここに来て、カオスな中で「今まで通り」を越えて、より自立的で発展的な行動で進歩・前進していくことが求められているように思います。より力を合わせていくことも求められていると思います。クラブ運営においては、皆さんへの働き掛けが薄かったと反省もありますが、皆さんと年齢を超えた若さと柔軟な発想で明るい未来を描き、クラブ発展に一步でも前に進んでいけるよう、私なりに押して努めていますので、ご協力をお願いします。

本日は「情報共有・課題確認の会」5/5最後の会となります。ディスカッションも織り交ぜながらの参加型の会をイメージしていましたが、会話にともなう不安感に譲歩して解説型の会としました。それでも当事者意識をもって想像しながら受けていただくことで、気付きとして得られるものはあったのではないのでしょうか。今後のクラブ運営に役立てていただけたらと思います、発案して進めたプログラムでした。中々ない機会ではないかと思しますので、最後のお付き合いをよろしくをお願いします。

プログラム

「情報共有・課題確認の会」
柔軟なクラブ運営のために」

【会員の経験】が key



例会頻度及び例会形式の工夫ポイント

- ・変化をとりいれる
- ・会員の声に耳を傾ける
- ・会員満足度アンケートの実施
- ・奉仕活動を増やす
- ・オンライン例会を開く

規定審議会におけるクラブの柔軟性を紹介

「すべらない話?」
「すべってもいい話!」

安間俊樹会員

フーデリックスの
ご紹介



幹事報告

次週例会は特別休会
4月4日(日)寸座駅花のリレープロジェクト例会のご案内
回覧：地区研修協議会オンライン参加の部会別登録確認表



浜松ハーモニーロータリークラブ

〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1 グランドホテル浜松内

Tel: 053-413-1782 Fax: 053-413-1781 e-mail: hhrc@plum.ocn.ne.jp